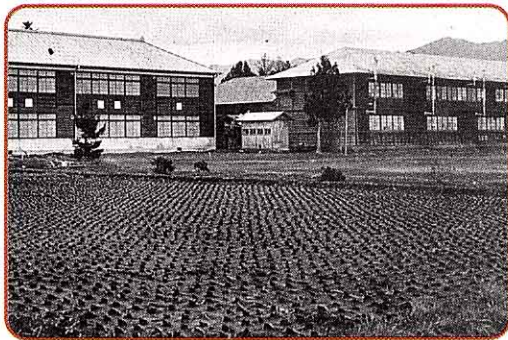
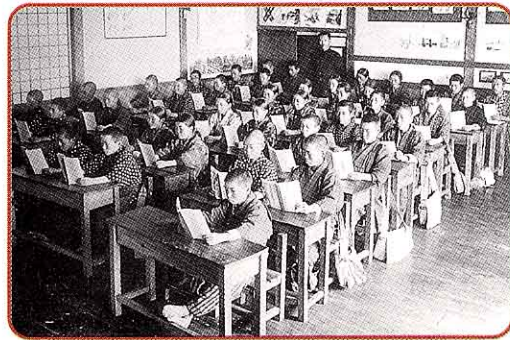


ていました。

昭和のはじめころになると、児童数も400人をこえ、それまでの校舎がせまくなったので、1932年（昭和7年）に校舎西半分が増ちくされ、6教室がふえました。1953年（昭和28年）には、校舎東半分が建て直され、その後体育館が建てられました。



1932年（昭和7年）の校舎
(左側は増ちくした校舎)



1932年（昭和7年）の授業風景

50年前の学校 1947年（昭和22年）に学校の制度がかわり、千里村立千里小学校となりました。そのころは、子どもたちのほとんどは着物を着て、ぞうりやげたをはいていました。教科書はザラ紙に印刷したもので、ノートやえんぴつもそまつなものでした。1955年（昭和30年）には町村合併が行われ、猪苗代町立千里小学校となりました。



1954年（昭和29年）頃の校舎



1960年（昭和35年）の授業風景